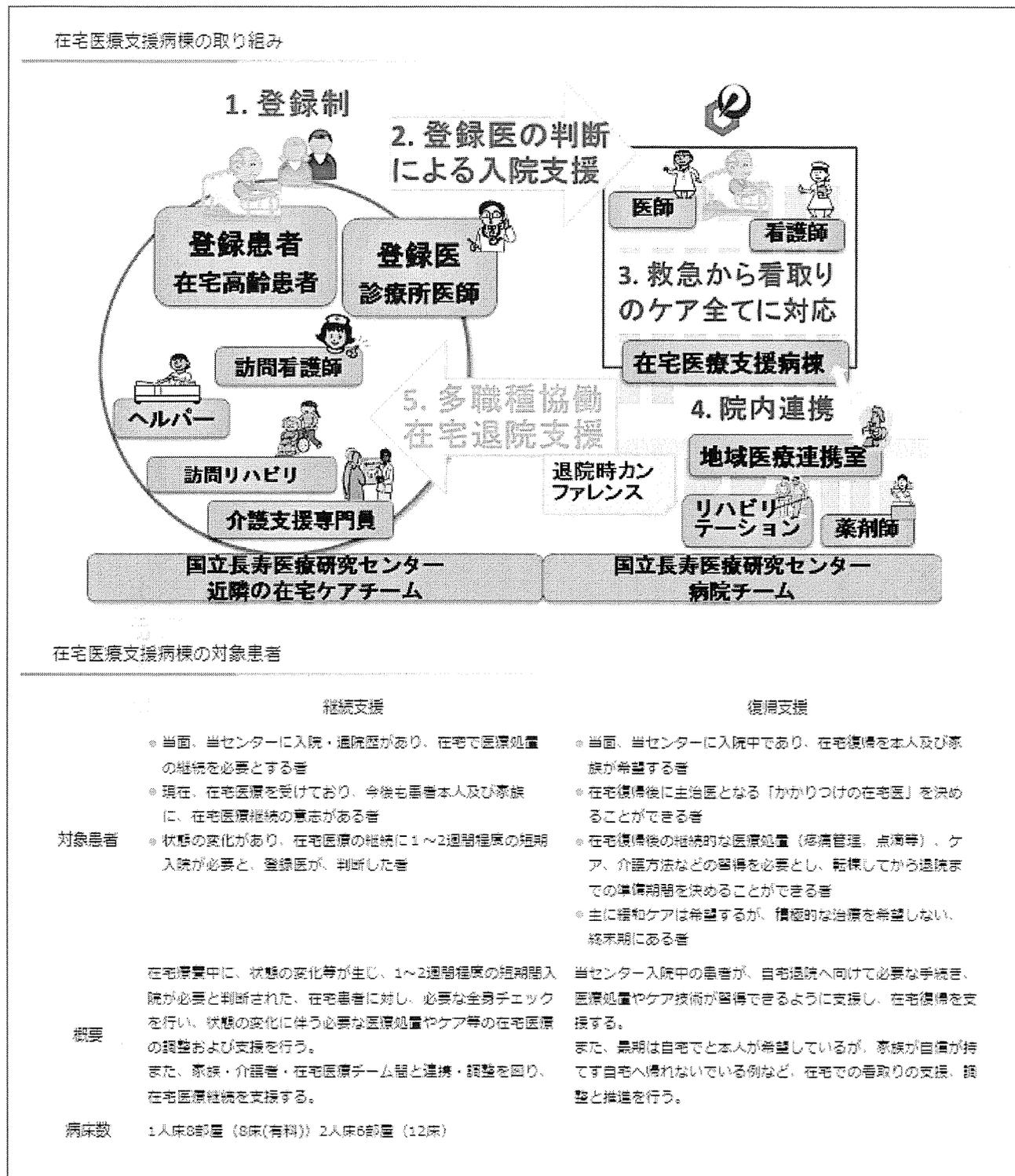


例) 国立長寿医療研究センター 在宅医療支援病棟における取組み (図 25)

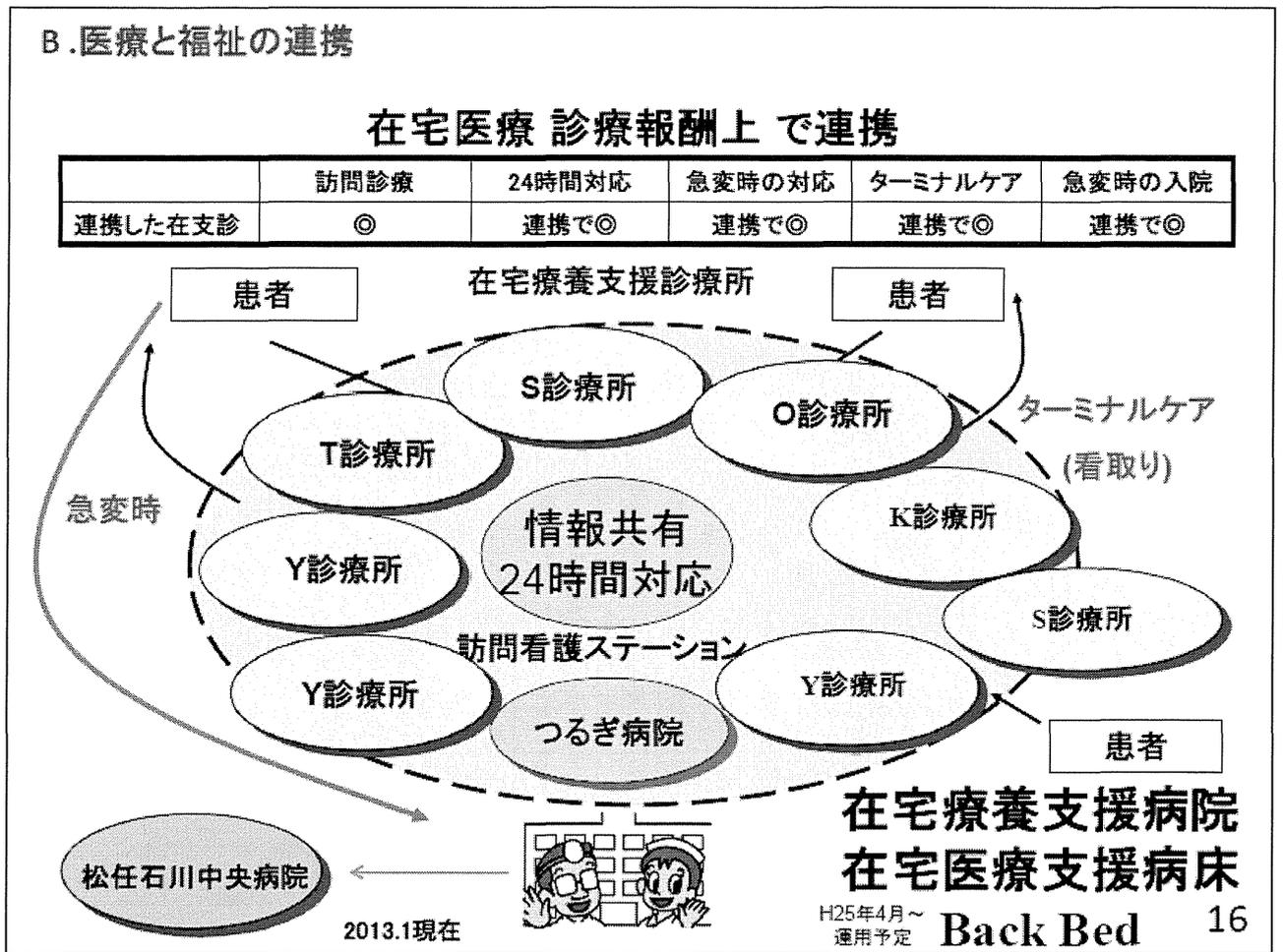


※ 国立長寿医療研究センターでは、在宅療養を継続できるよう、患者や家族の安心を担保し、かかりつけ医の負担軽減を目的に在宅療養支援病棟を運営している。

かかりつけ医を『登録医』とし、登録医の判断で必要時にいつでも入院が可能なシステムである。  
詳しくは、国立長寿医療研究センター ホームページよりご覧ください。

<http://www.ncgg.go.jp/zaitakul/zaitakusien/byoto/1system.html>

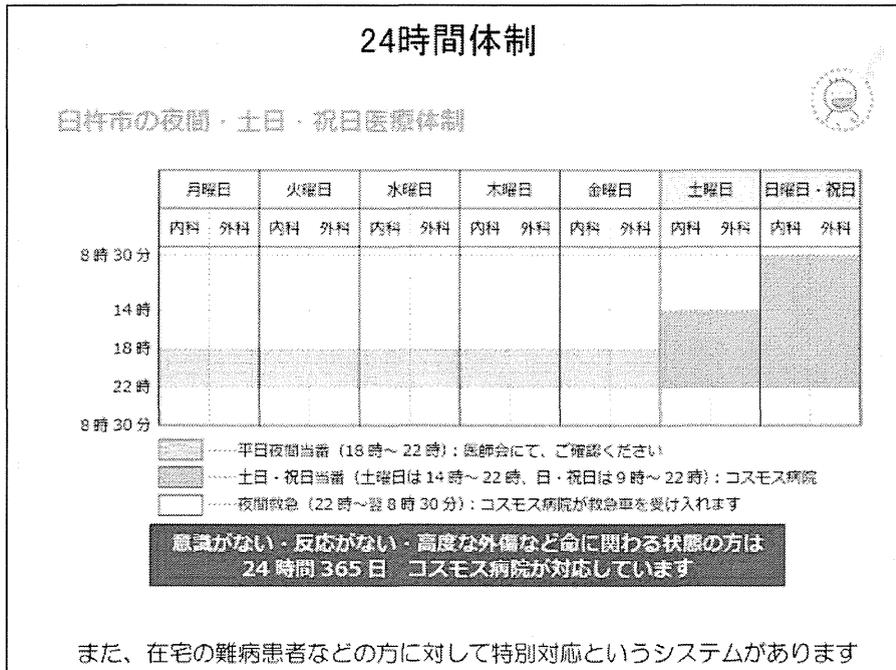
例) 石川県 公立つるぎ病院における後方支援病床設置の取組み (図 26)



※ 公立つるぎ病院では地域の在宅療養ネットワークの患者の後方支援病院として、専用の病床を確保し、24時間 365日支援体制をサポートしている。

円滑な入院受け入れのためのルールやマニュアルの整備、情報提供様式の作成も行った。

例) 大分県 臼杵市医師会立コスモス病院における24時間365日在宅医療提供体制構築への取組み (図 27)



※ 過疎化が進む臼杵市では、地域のかかりつけ医が平日夜間当番を担当し、平日深夜や土日祝日は当番を病院が担当し、地域の後方支援病院の機能を担っている。

コーディネーター機能も担っており、多職種を集めた担当者会議や事例検討なども行っている。

例) 北海道 夕張市立診療所における24時間365日在宅医療提供体制構築への取組み (図 28)



※ 高齢化、過疎化が深刻な人口約1万人の夕張市では地域の医療や介護、福祉など在宅療養患者を支援する多職種スタッフが垣根なくカンファレンスに参加し、情報共有や課題の共有を行っている。

24時間365日の支援体制については、医療だけでなく、介護や施設等の役割分担と平日頃からの情報共有によって地域独自の支援体制を構築している。

## E. 地域包括支援センター・ケアマネジャーを対象にした支援の実施

### 内 容

医療知識の十分でない地域包括支援センターやケアマネジャー等の介護サイドの職種に対して、医療知識の提供、相談窓口の設置等により支援を行い、在宅医療・介護連携の円滑化を図るもの

### 目 的

在宅医療を含む多職種協働においては、特に、介護サイドの職種において医療的な知識が不足していることが連携を困難にしているとの指摘があり、他方、介護職種からは、とりわけ多忙な医師へのアプローチは敷居が高く困難との声が聞かれる。このような状況に対応する支援を行うものである。

### 留意点

- 具体的手法としては、介護関係者向けの研修の実施により知識レベルの向上を図ることに加え、介護関係者が気軽に医療的相談ができる窓口設置の必要性が高い。
- また、医師がケアマネジャーからの電話等を受ける時間帯(『ケアマネタイム』)を設定し、その一覧を介護側に周知することによって、介護側の、多忙な医師に対する相談への心理的障壁を減らそうとする試みがされている地域もある。
- 介護保険制度の開始をきっかけに全国的に郡市区医師会主導により、多くの地域において医師・ケアマネジャー間のファックス通信が導入された。しかし、長年の経過により、残念ながらこのような通信ルールが機能していない地域がある。現在、これが機能していればさらに強化し、不十分である場合にはその再活用も検討する。
- 前述の医師・ケアマネジャー間のファックス通信のような連携ルールは、定期的に課題を確認した上で是正するシステムを継続することが極めて重要であり、これを怠ると機能を失う場合があることに留意すべきである。







## G. 地域住民への普及・啓発

### 内容・目的

- 在宅医療・介護の連携が円滑に進んでいくためには、医療・介護関係者の連携・努力だけではなく、何よりも患者や家族が在宅医療についてよく理解して選択することが基本となる。
- 今後、各地域において医療・介護の支援が必要とされる高齢住民が増加することが見込まれており、地域住民にも在宅での療養介護に関する理解を促していただくことが必要である。

### 留意点

- 具体的には、退院後の生活や在宅での看取りなどについての情報提供媒体の作成や、寸劇なども活用した理解しやすい啓発活動、地域特有の情報発信ツールを活用した情報提供等を展開することが重要である。

例) 東京都 板橋区医師会における地域住民への普及啓発活動の取組み (図 36、図 37)



※ 板橋区医師会は、区民公開講座で寸劇を用いた在宅医療の啓発活動を行っている。

## 4. 市民啓発

### ○ 市政テレビ広報番組「興味しんしん家族」

- ・タイトル「在宅医療を知っていますか？」

- ・放送日

平成24年12月19日(水)

午後7時53分～8時



- ・内容

在宅医、家族からのコメント

訪問診療の様子

### ○ ポスター、リーフレット等の作成

27

※ 熊本市は、一般市民への啓発に、市政テレビ広報番組を利用している。

## 啓蒙活動② 公報の利用

身近な話題を中心に医学知識を持ってもらうことを目標とする



※すさみ町は、町報を活用した住民への情報発信を行っている。

## H. 年間事業計画

### 内 容

- 推進協議会の開催等を経て把握された、地域の現状・課題及びこれに関する対応方針を踏まえ、市町村における事業計画を策定する。

### 目 的

- 在宅医療・介護連携は、市町村当局に加え、医師、歯科医師等の医療関係職種、ケアマネジャー、介護事業者等数多くの主体が関わる事業であり、推進協議会における検討や合意の集大成(実施・検討事項、スケジュール、役割分担等)を可視化し、進捗管理ができるようにしておくことが重要である。

### 留意点

- 解決策から具体的な在宅医療・介護連携推進に関する事業計画を策定し、一定期間において実施する事業の内容や、関係主体間の役割分担を明確にする。
- 事業計画に盛り込むべき事項は、推進協議会の場で検討することとなるが、例えば以下のような事項が考えられる。

A～Hの事項及びこれら以外に当該地域で取り組む事項それぞれについて

- ① 実施内容について検討するものについては、検討委員会等の構成や検討スケジュールなど
  - ② 実施するものについては、回数や時期、役割分担など
- 策定した事業計画は、推進状況を確認し、見直しを図り、さらに推進するというサイクルを経るべきことは当然であり、特に多職種の参加が不可欠な本事業においてはその必要性は高い。
  - また、本事業の質と効果を評価する指標について、あらかじめ検討する必要がある。具体的には、在宅医療・介護連携の体制(構造)、支援内容(過程)などがある。また、その効果(結果)として、市町村と地域の医師会との協働による「在宅医療に参画するかかりつけ医師数」や、高齢者が最期まで住み慣れた地域で暮らすための体制と支援による「在宅看取り率(数)」などが挙げられる。

(参照)

平成 25 年 10 月 22 日 平成 25 年度在宅医療・介護連携推進事業研修会資料  
『客観評価を考慮した指標のモニタリング』

[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/jinzaiikusei/2013/kogi5\\_1022\\_oshima.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/jinzaiikusei/2013/kogi5_1022_oshima.pdf)



例) 石川県 公立つるぎ病院における事業計画 (図 42、図 43)

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画書・報告書												報告事業所名 白山石川医療会 公立つるぎ病院						
ミッション 誰の見える関係から信頼関係の構築			地域連携ケアシステムの構築									数値目標	結果					
事業内容	目的	具体的内容	経費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			12月	1月	2月	3月	
95	国・県・市の連携、協力	在宅医療・介護あんしん2012	国・石川県・白山市の連携協力 石川県の介護支援センター	在宅医療推進事業への協力依頼	11日 在宅医療推進事業の報告会	1日 白山市の介護支援センターとの連携	14日 白山市の介護支援センターとの連携										(数値) 国・県・市との連携強化	
96	白山市高齢者支援センターとの連携	医療・福祉・介護に携わる様々な支援	白山市高齢者支援センター(地域包括支援センター)管理業務と高齢者の定着プログラムを行う	地域の課題の抽出・解決策の検討 行政サイドからの情報提供 ・資源の有効活用	11日 在宅医療推進事業の報告会	1日 白山市の介護支援センターとの連携	14日 白山市の介護支援センターとの連携	27日 行政・医療・福祉連携推進会議	9日 定例会	14日 定例会	20日 定例会	23日 定例会	9日 定例会			年10回	9回	
97	医師会との連携	国・県・市	情報提供・協力	情報共有化	18日 在宅医療推進事業の報告会												年12回	
98	訪問看護ステーションとの連携	24時間体制・相互連携体制の構築と関係の構築	システムの確立	在宅医療推進事業の責任分担	18日 在宅医療推進事業の報告会												年5回	6回
99	ケアマネジャーとの連携	協働・多職種連携の協力依頼 在宅医療推進の協力依頼	在宅介護事業者との連携 ①NHK(ケア23)にて訪問看護・相談の意見交換の「場」の創設	在宅医療推進事業の責任分担	在宅医療推進事業の報告会												年6回	3回
100	薬剤師会との連携	多職種連携の協力依頼 在宅医療推進の協力依頼	在宅医療への参加 訪問薬剤師モデル作り	地域在宅医療推進の協力依頼	在宅医療推進事業の報告会												年4回	2回

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画書・報告書												報告事業所名 白山石川医療会 公立つるぎ病院						
ミッション 誰の見える関係から信頼関係の構築			地域連携ケアシステムの構築									数値目標	結果					
事業内容	目的	具体的内容	経費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			12月	1月	2月	3月	
91	人材育成 在宅医療・介護を担う人材の育成	専門的知識を深め、地域ニーズを把握する。  在宅医療の質の向上	県立看護大学との連携  専門技術の向上	人材育成	25日 在宅医療推進事業の報告会												セミナー等の開催 150人	
912	地域力の創出	緩和ケア 地域での認知症等在宅に係る知識を基に、地域でケアする地域力の創出を図る。	緩和ケアの勉強会 イメージ・イメージ・年報、夏祭りなどのイベント等	医療的支援・研修実施等													緩和ケア勉強会 1回	
10	視察	先進地域の情報収集	先進事例の検討	在宅医療に対する知識のアップ			21日 視察先(大野市)視察										年2回以上	2回
914	災害関連	災害発生時に備えられた対応の検討  在宅医療を必要とする人が安心して受けられる体制作り	災害関連の検討 ・地域における在宅医療の現状 ・災害時のネットワーク構築 ・必要な役割の整理	災害関連の検討 ・災害関連の検討 ・必要事項の整理 ・必要事項の整理													災害関連の検討 1回 訓練 1回 訓練 1回	

例) 石川県 公立つるぎ病院における事業計画 (図 44)

Mission 親の見える関係から信頼関係の構築		地域包括ケアシステムの構築												平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画書・報告書		施設名称 白山石川医療センター 公立つるぎ病院			
事業内容	目的	具体的内容	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開催日	結果		
15	ホームページ	情報の提供	病院ホームページ内に掲載							企業公開	遷居開始								
18	情報共有システム 計画 継続	異なる機関の他機関が 患者のニーズに応じた 質の高い診療・介護 サービスを提供できるよ うに情報の共有を図る。	情報共有ツールの 検討	在宅医療連携の負担 軽減	共通の 情報の共有	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始		
					共通の 情報の共有	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始
18	イベント企画 講演会、研修会	在宅医療の現状、課題等 を把握し、今後の連携の あり方を検討する。また、 在宅医療の重要性を 広く周知する。	講演会・研修会 の開催	在宅医療の重要性 の周知	講演会・研修会 の開催	在宅医療の重要性 の周知	講演会・研修会 の開催	在宅医療の重要性 の周知	講演会・研修会 の開催	在宅医療の重要性 の周知	講演会・研修会 の開催	在宅医療の重要性 の周知	講演会・研修会 の開催	在宅医療の重要性 の周知	講演会・研修会 の開催	在宅医療の重要性 の周知	講演会・研修会 の開催		
19	地域連携関係構築、情報共有	地域連携の共有 の促進	マップの作成	各機関には情報があっても、 共有されていない 情報の共有	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始	共有開始										
21	院内連携 医療従事者の基本方針として「入院と 外来の連携」だけでなく、在宅を含め 数しなやかな連携が必要	連携の基本的な方向として「入院と 外来の連携」だけでなく、在宅を含め 数しなやかな連携が必要	紹介状連携	平成24年度連携 率(在宅医療)	75%	78%	81%	83%	85%	87%	89%	91%	93%	95%	97%	99%	100%	紹介状の アップ 15%	
			遠隔診療連携	在宅医療連携の 状況・人員配置	在宅医療連携 率	75%	78%	81%	83%	85%	87%	89%	91%	93%	95%	97%	99%	100%	
			地域連携会議	在宅医療チーム の連携	在宅医療連携 率	75%	78%	81%	83%	85%	87%	89%	91%	93%	95%	97%	99%	100%	
			院内説明会	院内職員への 周知	在宅医療連携 率	75%	78%	81%	83%	85%	87%	89%	91%	93%	95%	97%	99%	100%	
			利用者の権利 の確保	在宅医療連携 率	75%	78%	81%	83%	85%	87%	89%	91%	93%	95%	97%	99%	100%		

※ 公立つるぎ病院では、地域包括ケアシステム構築に向け、拠点として様々な視点から取り組む課題を明確にし、具体的なアクションプランを立てて実行した。

## 4 今後に向けて

### (1) 市町村事業のさらなる向上のために

- 在宅医療の推進については、各地の医療機関において先進的な取組みが進められてきたが、国の施策として「在宅医療連携拠点事業」が進められたのは、平成 23・24 年度のことである。市町村と地域医師会が中心となって面的な在宅医療・介護連携を推進する動きは、まだ定まった進め方が確立しているわけではなく、各地で多様な試みがなされているのが現状である。
- 各市町村において事業を進めていくに当たっては、先行地域における取組みの実情等を積極的に吸収し、それぞれの市町村の実情に合わせた検討の基礎とすることが必要である。
- 厚生労働省においては、平成 24 年度、(独)国立長寿医療研究センターに委託して実施した都道府県リーダー研修の成果を各地において展開することとしているので、これに基づく研修等が各都道府県で実施される場合には、積極的に参加すべきである。また、他の研修・セミナー等の機会を活用したり、各種資料の閲覧、視察を行う等により知見を広めたりして、それぞれの地域での在宅医療・介護連携推進体制の構築につなげていただきたい。

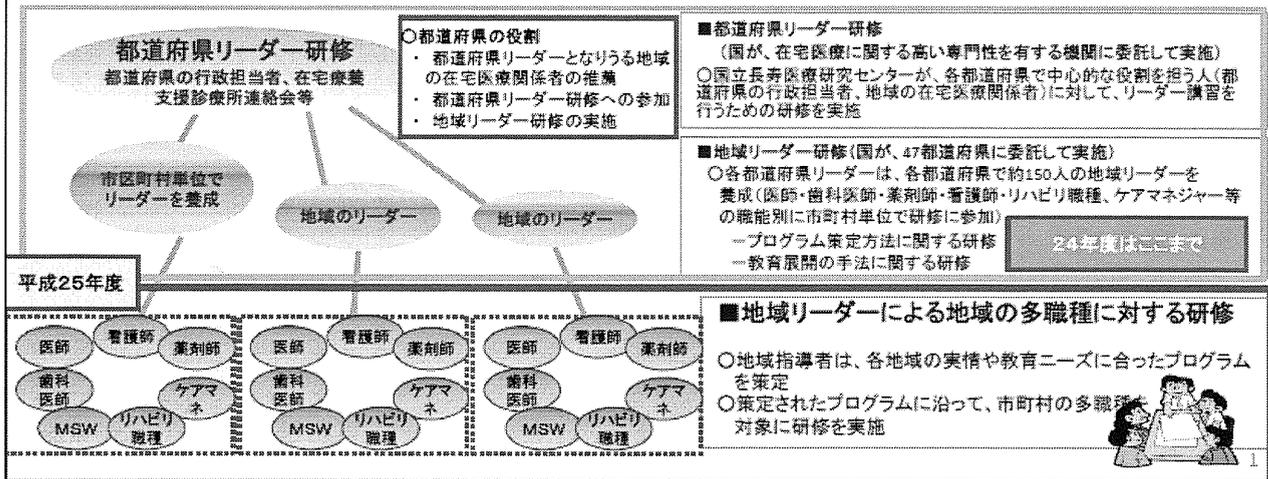
# 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

25年度予算 100百万円

## ■本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う(都道府県リーダー研修)
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う(地域リーダー研修)
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市区町村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けることができる体制構築を目指す

※WHO(世界保健機関)は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。(2002年)



## (2) 制度改正の動向

- 冒頭にもあるように、政府の「社会保障制度改革国民会議」は、平成 25 年 8 月 6 日に報告書を取りまとめた。

社会保障制度改革国民会議報告書

(概要) [http://www.kantei.go.jp/jp/shingi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo\\_gaiyou.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/shingi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo_gaiyou.pdf)

(全文) <http://www.kantei.go.jp/jp/shingi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo.pdf>

- これを受けて、厚生労働省の関係審議会においては、介護保険事業あるいは医療提供体制の改革についての検討が進められているところである。今後の事業運営や将来設計においては、このような制度改革の動向が大きく影響することはいうまでもないことであるので、これら審議会の動向等にも十分注意しておくことが必要である。

厚生労働省 社会保障審議会

医療部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126719>

介護保険部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126734>

## 資料 1) 各市町村の取組みに関する図表等の出典一覧

- 図 1 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
津島市, P4.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/06055156.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/06055156.pdf)
- 図 2 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,  
肝属郡医師会立病院, P36.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303\\_date/08102272\\_ppt.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08102272_ppt.pdf)
- 図 3 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
津島市, P5.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/06055156.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/06055156.pdf)
- 図 4 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
熊本市, P6.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/11096264.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11096264.pdf)
- 図 5 鹿児島県庁ホームページ(アクセス 2013 年 10 月 28 日)  
<http://www.pref.kagoshima.jp/ab02/soshiki/hoken/honcho/kaigo.html>
- 図 6 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
横手市地域包括支援センター, P9.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/01012025.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/01012025.pdf)
- 図 7 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
坂井地区広域連合, P7.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/05043117.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/05043117.pdf)
- 図 8 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
日本医療伝道会, P12.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/04034100.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04034100.pdf)
- 図 9-14 柏市保健福祉部福祉政策室(2013). 柏市における長寿社会のまちづくり～豊四季台プロジェクト～.
- 図 15 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
中部地区医師会, P7.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/11104276.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11104276.pdf)
- 図 16 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
宗像医師会, P24.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/10090255.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/10090255.pdf)
- 図 17 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
宗像医師会, P25.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/10090255.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/10090255.pdf)

- 図 18 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
石巻市立開成仮診療所, P11.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/02008016.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/02008016.pdf)
- 図 19-23 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,  
オレンジホームケアクリニック, P11, 12, 14-16.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303\\_date/04045119\\_ppt.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/04045119_ppt.pdf)
- 図 24 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
柏市, P6.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/04028061.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04028061.pdf)
- 図 25 国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部ホームページ(アクセス 2013 年 11 月 26 日)  
<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/zaitakusien/byoto/1system.html>
- 図 26 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
公立つるぎ病院, P16.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/05042116.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/05042116.pdf)
- 図 27 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,  
臼杵市医師会立コスモス病院, P5.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303\\_date/08097266\\_ppt.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08097266_ppt.pdf)
- 図 28 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,  
夕張市立診療所, P5.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303\\_date/01003008\\_ppt.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/01003008_ppt.pdf)
- 図 29-30 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
板橋区医師会, P31, P33.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/04031081.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04031081.pdf)
- 図 31-32 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,  
日田市医師会立訪問看護ステーション, P15, P23.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303\\_date/08098267\\_ppt.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08098267_ppt.pdf)
- 図 33-34 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
鶴岡地区医師会, P15-P16.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/02014029.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/02014029.pdf)
- 図 35 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
新見医師会まんさく, P6.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/08073214.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/08073214.pdf)
- 図 36-図 37 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
板橋区医師会, P27, P36.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/04031081.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04031081.pdf)
- 図 38 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
熊本市, P27.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/11096264.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11096264.pdf)

- 図 39 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 地域ブロック活動発表会資料,  
すさみ町, P22  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301\\_02\\_block/07069207.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/07069207.pdf)
- 図 40-44 厚生労働省委託事業 平成 24 年度在宅医療連携拠点事業 成果報告書添付資料,  
公立つるぎ病院, P2-6.  
[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303\\_date/04042116\\_ppt.pdf](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/04042116_ppt.pdf)
- 図 45 厚生労働省ホームページ, 在宅医療・介護の推進について, P17. (2013/10/30 アクセス)  
[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iryuu/zaitaku/dl/zaitakuiryuu\\_all.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/zaitaku/dl/zaitakuiryuu_all.pdf)

資料 2) 地域包括ケアシステム構築への取組みにおいて参考にされたい情報紹介

厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/>

○在宅医療の推進について

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iryuu/zaitaku/index.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/zaitaku/index.html)

○地域包括ケアシステム

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/chiiki-houkatsu/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/index.html)

○社会保障審議会 医療部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126719>

○社会保障審議会 介護保険部会

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126734>

○「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」について

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/05/s0521-11.html>

○市町村セミナー

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshoseminar/01.html>

首相官邸ホームページ <http://www.kantei.go.jp/>

政策会議 <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/>

○社会保障制度改革国民会議

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/>

公益社団法人 日本医師会ホームページ <http://www.med.or.jp/>

○第1回 日本医師会 在宅医リーダー研修会

<http://www.med.or.jp/jma/nichii/zaitaku/001707.html>

公益社団法人 日本看護協会ホームページ <http://www.nurse.or.jp/>